

RI第2620地区 静岡第3分区

沼津柿田川ロータリークラブ



RI会長 田中作次
 RI第2620地区ガバナー 高野 孫左エ門
 会長 野口 郁夫
 幹事 高田 聡
 例会日時 毎週月曜日12:30点鐘
 例会場 沼津卸商社センター 2F
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
 TEL 055-971-6500
 事務局 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

会長挨拶



第1457回例会 会長挨拶

会長 野口郁夫

ロータリー財団月間につき先週に続いて話させていただきます。今日は財団の基金についてであります、基金には大きく分けて2つあります。現在の活動を支える年次基金と、恒久的にロータリー財団の活動を支え長期的な安定をもたらす恒久基金があります。年次基金は寄付額の全額を寄付した年度の3年後にロータリー活動の為に使用されます。恒久基金について元金(寄付額)は使用されず投資収益の一部が財団活動に使用されます。恒久基金に1,000ドル寄付すると、ベネファクターの称号が与えられます。恒久基金日本委員会は今年度、新規ベネファクターを各クラブ少なくとも1人(50名以上のクラブは2名)を目標としております。世界では恒久基金を2025年までに10億ドルに成長させることを目標としております。2012年6月30日現在、この目標は75%達成されております。会員の皆様には財団に対する活動理解していただき少しでも多くの寄付のご協力をお願いいたします。

最後に17日・18日は地区大会が山梨で開催されます会員の皆様にはせつかくの休日にも関わらず多数の参加をいただきます。心より感謝申し上げます。

幹事報告

■ 事務連絡 ■

- * ガバナー事務所より
2012年度ロータリー友情交換プログラム募集案内 到着
- * 米山記念奨学会より
ハイライトよねやま152 到着

■ 例会変更 ■

- * 沼津西RC
12月20日(木)→22日(土)クリスマス家族例会
12月27日(木)→裁量休会
- * 新富士RC
12月18日(火)→夜間例会 クリスマス家族会

■ 週報到着 ■

沼津西RC・新富士RC

本日のゲスト・ビジター

ビジター 沼津北RC 名取賢吉 様
 ゲストはありませんでした。

スマイル報告

太田昭二 初孫が誕生。男の子です。
 梅田欣一 妻の誕生日お祝いありがとう。
 梅田欣一 結婚記念日お祝いありがとう。

会員卓話



新入会員卓話

前澤秀明 会員

本日は前任地岩手での東日本大震災の体験についてお話をさせていただきます。

私は今年の3月まで岩手南営業支社に勤務しており、支社の所在地は岩手県の水沢という内陸でしたが、岩手県の南半分のエリアを担当しており、その中に大船渡営業所も入っていました。

昨年3月11日の東日本大震災では大船渡営業所が津波でビルの3階まで浸水し営業所が使えなくなりました。おかげさまで従業員本人は全員避難して無事でしたが、両親・子供も含め、家族・親戚・友人を亡くした方は大勢いました。

また、35名の従業員のうち、津波で家が全壊した人が5名、半壊した人が1名おり、避難所生活を余儀なくされました。

実は、私は3月11日地震の当日、朝から大船渡営業所の朝礼に参加し、その後、日中は大船渡のお客さまの挨拶訪問を行い、夜は営業所の幹部会議と懇親会に出席し大船渡のホテルに泊まる予定でした。

ところが、前日の3月10日に水沢のお客さまにご契約のお礼訪問のアポイントをとったところ、「明日の午後1時ならいいよ」ということで、急遽3月11日の朝から大船渡に行く予定を変更して午後3時頃水沢を出発して大船渡に行くことにしました。11日の午後2時46分、水沢にいた私はそろそろ大船渡に出発しようとしていた時に大地震が起こりました。

結局その日は大船渡に行くことができず、電気・ガス・水道など全部とまっていたので2日間自動車で寝泊りしました。テレビもラジオも通じない状況が続いていたので東北地方沿岸部が津波で大変なことになっているのを知ったのは当日の夜、カーナビのテレビで、でした。もし、アポイントが入らず朝から大船渡に行っていたらどうなっていたのだらうと思うと、ゾッとすると

ともに、私は運が良かったのかなとも思いました。

2日目の午前中まで固定電話も携帯電話もつながらず、陸の孤島となった水沢にいて、北上や一関や大船渡の従業員がどうなっているかわかりませんでした。13日の午後、山越えの70Kmの道を車で走り大船渡に入りました。街は流され、営業所もメチャクチャになり、とても現実の光景とは思えませんでした。

従業員が全員無事だと確認されたのは震災から6日目のことでした。それまでは何人かは津波の犠牲になってしまったのではないかと気が気ではありませんでした。全員の無事が確認されたときはみんなで心の底から喜びあいました。

それからしばらくは支援物資を積んで1週間に2回ほど大船渡を訪問しました。営業所が使えなくなりましたので従業員は市民文化センターの駐車場に集まりましたが、運良く4月1日からテナントを借りて営業することができるようになりました。

(中略)

今回の震災では全国の人たちからの支援物資、義援金、ボランティア活動など本当に暖かい気持ちが伝わり、「絆」の大切さを実感することができました。

ただし、現地ではまだまだ大変な生活をしている人も多く、街が元通りになるには相当の年月がかかると考えられます。

私が転勤するにあたり、現地の方からは、「新しい土地でも被災地の現状を伝えて、『絆』が一過性のものにならないようにみなさんをお願いしてください」と言われました。

ロータリーのみなさんにも是非ご理解・ご協力いただければと思いますのでよろしくお願いします。

2012年11月12日

～前澤秀明会員プロフィール～

事業所 明治安田生命保険(相)

住 所 沼津市添地町183

役 職 沼津支社長

入会日 2012年5月19日

委員会報告

奉仕プロジェクト委員会

委員長 岩本義正

23日のふれあい広場の出品物ですが、各自2000円以上の売り上げとなる出品物を宜しく願い致します。

◆次回例会プログラム◆ 卓話（地区大会報告）

出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席計算に用いた出席者	出席率	10月29日修正出席率
16名	16名	16名	87.50%	100%

出席： 古泉・太田・原・野口・菊池・前田 他 計14名

欠席： 濱田・横山 計2名

MU： 計一名